

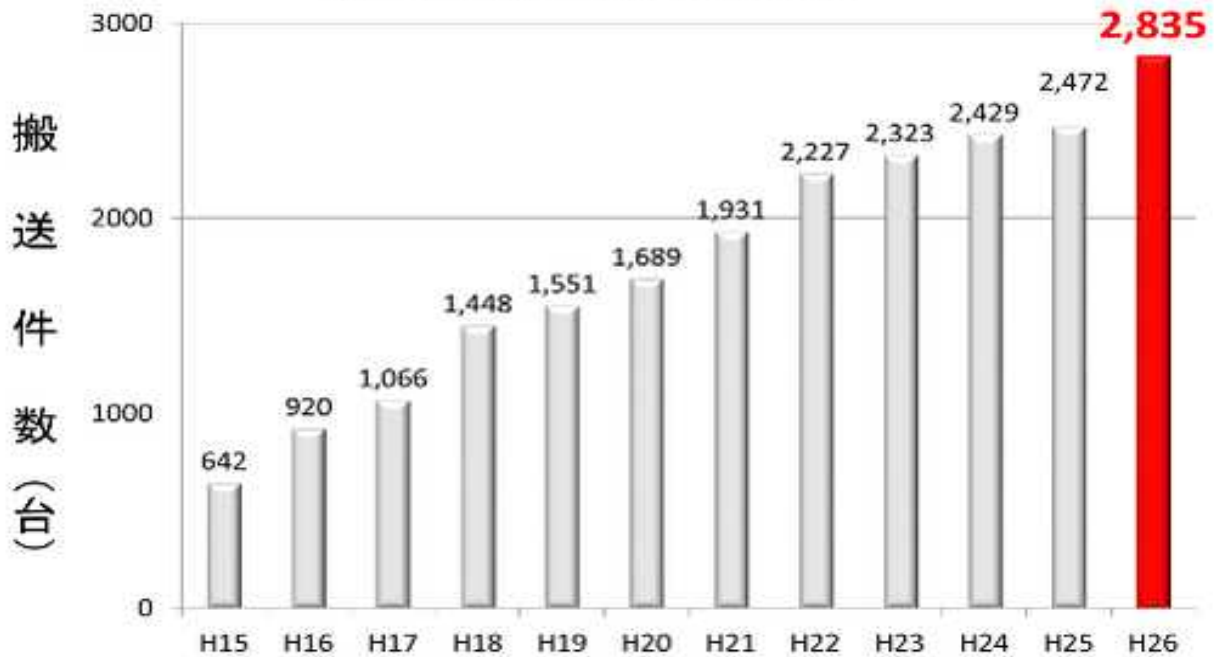
平成 28 年度 学科 AO 入試 総合考査 問題用紙【救急医療学科】  
試験時間：90分

.....  
資料①～④(別紙)を参考にして、以下の問いに答えなさい。

- 問1. 現在の救急搬送の実態を考察し、今後どのような事態が予想されるか、あなたの分析と解決策を記述しなさい。
- 問2. 日本の消防団制度についてあなたの考えを述べ、資料を検討して今後の消防・救急活動に期待される消防団の役割について自由に記述しなさい。

<資料①:救急車搬送件数の推移> 出典:福岡市民病院 HP

## 救急車搬送件数の推移



<資料②:傷病程度別搬送人員構成比の推移> 出典:総務省消防庁 HP 平成 26 年度版救急救助の現況

### 傷病程度別搬送人員の構成比

傷病程度別搬送人員の構成比について、過去からの推移をみると、軽症は約半数のまま横ばい、中等症は増加し、重症は減少している。(第 39 図参照)

第39図 傷病程度別搬送人員構成比の推移



(注) 傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次のように分類した。

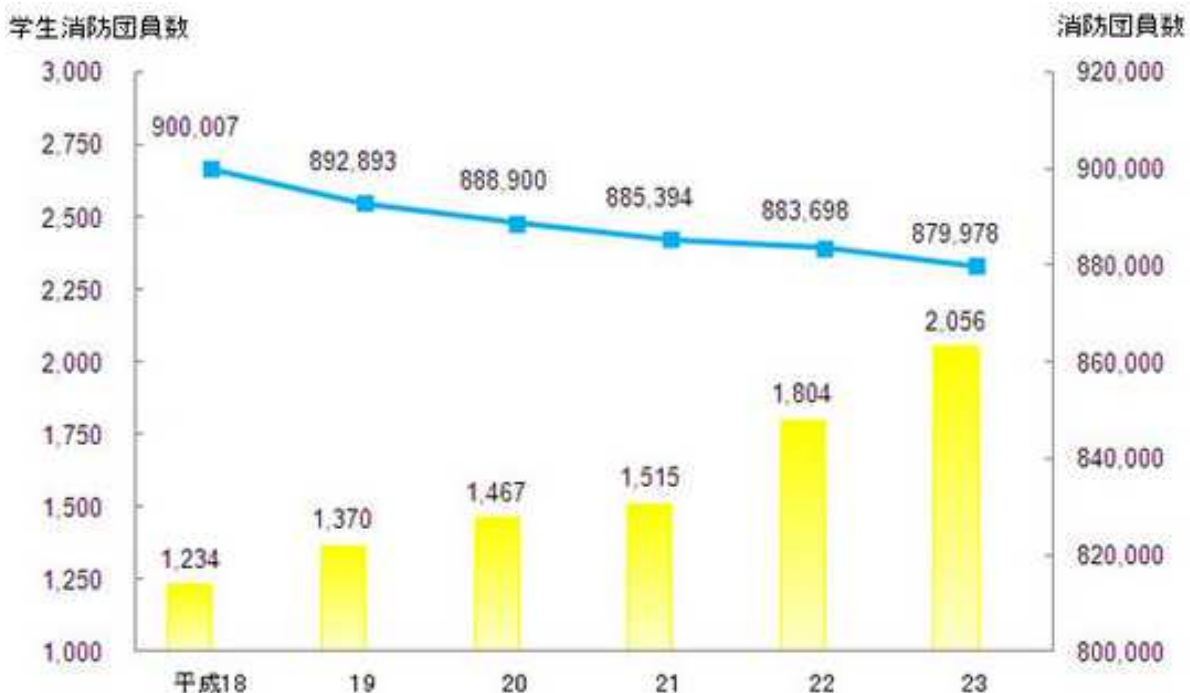
- 1 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
- 2 重症とは、傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。
- 3 中等症とは、傷病程度が重症または軽症以外のものをいう。
- 4 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
- 5 その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したものをいう。

なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、骨折等で入院の必要はないが、通院による治療が必要な者は軽症者として分類されている。

## 活動内容

消防団の活動は消火だけではなく、実際にどのような所で活躍しているのか、どのような役割を持った組織なのかをご紹介します。

消防団は、消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担います。また、近年は、女性の消防団への参加も増加しており、特に一人暮らし高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及指導などにおいて活躍しています。



東日本大震災の影響により、平成23年の岩手県、宮城県及び福島県の学生消防団員数、消防団員数については、前年数値(平成22年4月1日現在)により集計している。